



THE ROTARY CLUB OF KUSHIRO WEST 2010~2011(平成 22 年~23 年)

釧路西ロータリークラブ会報

創立 昭和 45(1970)年 6 月 8 日 承認 昭和 45(1970)年 6 月 10 日



2011~2012 RI テーマ 「地域社会にロータリーを活かそう!!」

《本日のプログラム》 9 月 12 日 12:30

普通例会

会員卓話(石川直前会長・三木直前幹事卓話)

《次回のプログラム》 9 月 26 日 12:30

普通例会

職場訪問例会(釧路市交流プラザさいわい)

《例会日:毎週月曜日 12:30~13:30》

《例会場:釧路全日空ホテル 釧路市錦町 3-7》

会長 加納 則好 幹事 小泉 和史

■クラブ事務所■

釧路市幸町14丁目1-1 ノースコートサンスイ2F

TEL(0154)23-6175 FAX(0154)23-6123

2011 年 9 月 12 日(月) 第 9 回 通算 1934 回

【点鐘】 加納会長

【ロータリーソング斉唱】 「それでこそロータリー」 ソングリーダー：櫻田 会員

【会長挨拶】 加納会長



皆さまこんにちは。諸般の事情が重なり、先月行われましたライラセミナーはじめ、9月8日の会長・幹事会等地区での会合に出席することができませんでした。会長・幹事会での議題で吉田ガバナー補佐より、釧路交響楽団「協力会」入会のご案内ということで、活動に対する支援の要請がありました。1口500円の協力会費ですが、ただいま回覧しております。主旨に賛同される方、何口でも結構ですのでぜひご協力のほどよろしくお願い致します。なぜ私が報告するかと言いますと、3年くらい前まで団員として所属しておりましたので、恐縮しながらのお願いで

ございます。今日の例会はお待ちかねです。石川直前会長、三木直前幹事の卓話でございます。1年間クラブのために全力を尽くしていただいたお二人の、思い出話などを大いに語っていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

【幹事報告】 小泉幹事



1. 近隣クラブより会報及びプログラムが届いています。
2. ロータリーの友英語版で2011-2012年度版申し込みの案内が届いております。
3. 釧路北ロータリークラブ様より(釧路南、釧路ベイ、釧路東、釧路北)の合同例会に10月12日(水)メーキャップのお誘いの案内が届いております。
4. 吉田ガバナー補佐より釧路交響楽団「協力会」入会のご案内が届いております。1口500円でサマーコンサートと定期演奏会へご招待・是非会員皆様のご協力をお願い致します。

【委員会報告】

- 広報委員会 加藤委員長
 ロータリーの友 紹介 縦組みP2、P14 横組みP32
- 親睦活動委員会 高木親睦委員長
 「バースデーソングでお祝い」
 ☆本人誕生 井岸 武雄 会員



【本日のプログラム】 担当 理事会

●会員卓話（石川直前会長・三木直前幹事）

《三木直前幹事》



みなさん、こんにちは。前年度、当西クラブの幹事を担当させていただきました、1年間、本当にありがとうございました。出来の悪い幹事ではあったと思いますが、自分自身学ぶべきことが多く、とても充実した1年を送ることができたと思っております。昨年は、自分の経営する学習塾を新築移転リニューアルし、そこに自宅事務所でやってきた社会保険労務士事務所も移転しました。9月には次男が誕生し、経営する学習塾グループのオーナー会の理事に推挙されたりで、そこに昨年5月頃から本格化する幹事の準備等が重なり、公私共に「てんやわんや」状態でした。

実は私、子どもの頃から団体行動が苦手でありまして、学校祭や文化祭といったものはイの一番に逃亡してしまふ。当然のごとく団体競技は苦手、会社勤めというものも性に合わない。拘束されることが嫌いで、一人でバイクに乗って旅をしているのが好き。そういった性格なもので、まさか自分がロータリークラブに入ろうなどは夢にも思っておりませんでした。しかし、今回幹事を担当させていただいて、まことに遅ればせではありますが組織に所属して団体で行動をすることの意味に以前ほどの拒否感を感じなくなったこと、またその重要性を再認識できたことが、自分にとって最大の収穫だと思っております。以前も申し上げましたが、石川前年度会長とは、かれこれ26年のお付き合いになります。石川さん、こう見えて実は昔はバイク乗りでありまして、石川さんの同級生が経営されていたバイク屋さんで当時18歳だった私（佐藤和彦さんは20歳）が通っていて、それが縁で知り合ったという次第です。ある時、佐藤さんと石川さんから「西ロータリークラブに入らないか」との誘いを受け、先ほど申し上げたような具合でありますので躊躇したのですが、半ば押し切られるような形で入会に至ったという次第です。私としましては、「そのうちに入ろう」と思いその旨を伝えていたのですが、ある時に石川さんより電話があり、「うちの事務所に来い」と呼ばれて行ってみるととても怖い顔をした方がソファに座っていて入会申込書を手渡され、「あんたが三木さんか。よろしく」とこやかに挨拶をされて入会に至ったという次第です。ちなみに、お分かりと思いますが当時の会長であった井岸さんです。石川さんの最後の殺し文句は、「いいから入れ！おまえ自身のためにもなる！俺が入れといっているんだから黙って入れ！」と

いったものでした。そういった経緯があるものですから、私の中では石川さんが会長をやる際には自分が幹事になる。それが当然のことになりました。入会以来、地区大会へは欠かさずに参加させていただいているのですが、私の車は2人乗りなのですけれど石川さんを乗せて2人で地区大会に参加した際の帰りの際です。私が、「石川さんが会長をやる時は、俺が幹事をやるからね」と言うと、「無い無い。そう言ってる。無いから！」などと言っていたものの、蓋を開けたらその翌年に幹事をやる羽目になってしまいました。ロータリー暦は浅く、団体行動が苦手。そんな男が幹事を担当したものですから、随分と配慮が欠けていたことと思います。会長であった石川さん、それから皆さんに色々教えていただきながら、曲がりなりに団体行動のイロハを学んだ一年間であったと思います。重ねまして御礼を申し上げます。先日、8月4日に釧路クラブさんへお邪魔してお話をさせていただきました。2月2日にも北クラブさんへお邪魔させていただきました。釧路の子ども達の基礎学力問題ということで、ゲストスピーカとしてお話申し上げて参りました。山本年度のIMにおきましても「私と職業奉仕」ということでお話させていただきましたが、格好をつけるわけではありませんが、私がロータリークラブへの入会を決意した最大の理由はそのためです。あまりに低すぎて目も当てられない状況下にある釧路の子ども達の学力の惨状を、地元の経済界のリーダーの方々知ってもらいたい。その思いが8割、残り2割は石川さんによるプレッシャー(笑)です。おかげさまで、入会5年目に入りました。幹事を担当させていただき、ロータリーというものが好きになりました。西ロータリークラブが大好きになりました。これも以前申し上げたことですが、我が家は父方も母方も親戚との付き合いが希薄でして、子どもの頃は親しく親戚付き合いをしている友達の家などを羨ましく思ったものですが、今は西クラブの皆さまが親戚のような気がしております。ただ、一つだけ皆さんにお願いがあります。「幹事の仕事は大変だよ」と言うのはちょっといかなものかと。若手としては確実に引いてしまいますので。「幹事の仕事、ガバナー公式訪問まではちょっと忙しいよ」「地区大会まではちょっと忙しいよ」ぜひ、そうおっしゃっていただきたいと思っています。1年間、とても楽しかったです。ありがとうございました。

《石川直前会長》



直前会長の卓話ということでお話しするわけですが、私のロータリーの入会は昭和63年2月ですので入会して22年目で会長の席に就任したわけです。

皆さんご存じかと思いますが、とてもイレギュラーな状態で就任でした。会長エレクトの要請はチャーターメンバの三宮会員と川島ガバナー補佐のお二方おいでになり、その重圧でいやがおうでも「お引き受けいたします」と、返事をしないわけにはいかない状態になりました。時間の無い短い間での、組閣を考えると頭の痛い状態でしたが、何とか、決定し役員と会員の皆さんに支えられ、第1回目の例会を迎えることができました。出航式が終わってすぐ野遊会のキャンプでしたが、もう数回重ねていることもありスムーズに実行され楽しい、夏の一日を過ごすことができたものと思います。昨年度は、2500地区以外からのメーキャップのお客様が3名来られております。お1人は東京から、もうお2人は札幌からでした。8月の9日ガバナー公式訪問の日に、東京西RCの玉山和夫さんという方がビジターで見えられ、毎年夏の釧路に長期滞在しているという方でした。この方は、西ロータリークラブの歌を携えられてこられまして、日本中の西クラブにこの歌を広めようとのことでした。その際にカセットテープと楽譜をいただきました。また、この方は、日本兵の話・「ビルマ戦線―戦場の真実」という著書もありまして、私も読ませていただきましたが、壮絶を極めたビルマ戦線では日本兵30万5000人の内11万8000人あまりしか帰国を果たせなかったようです。日英協会の事務局長を長く務めていたようで、大英帝国勲章MBEを授与されているということです。

9月16日には札幌RCの向山松英さんがメーキャップに来ており、10月25日には、札幌北RCの大滝祐子さんがメーキャップに訪れております。最近では、メーキャップに来られる方が少なくなり、10年くらい前までは、メーキャップで

欠席を補填するために、頻繁にビジターの方が来られ、またこちらからも訪問していたのですが、これも時代の流れと言ってしまうのかどうか少なくなっていました。昨年の9月27日には釧路ガスでの職場例会を開催し天然ガスの切り替えやガスプラントを見学させていただきました。また、今年の5月23日にはマテック釧路支店西港工場を見学させていただき鉄資源のリサイクルの工程を見学することができ、一般では見ることのできない部分を見学できたことは、価値の高いものだったと思います、計画をして実行に進めてくださいました谷口職業奉仕委員長に深く感謝致します。親睦委員会の開催する何とか大会は、パークゴルフとボウリング大会が例年の通り開催されました。パークゴルフは予定通り加藤精二会員が優勝され、ボウリングは大場会員の御嬢さんが優勝されました。親睦委員長の山本会員にはお礼申し上げます。何といっても前年度の会長に親睦委員長をお願いしたわけで他クラブの方々も驚いておりました。会員がだんだん減ってきますと、パスト会長だからといってゆっくりとしていられない状況だということをひしひしと感じます。何といっても、前年度の最大の出来事は、3月11日の東日本大震災は大地を揺らしただけではなく、日本国中の政治経済を揺らしてしまいましたが、ただ日本人の持つ倫理観だけは地震には負けなかったようがあります。15000人が亡くなり未だ4000人の方の行方がわからないことに、心が痛む思いです。

3月11日の震災により第7分区のインターシティ・ミーティングは、一時延期となり、結局6月19日に変則的ではありますが、実施されましたことは皆さんご存知の通りであります。例年、前年度の流れの中で委員会活動が受け継ぐ形で進められているわけですが、ロータリー活動は単年度活動で完結すると言われてきたのですが、継続は力なりという言葉が示す通り、柔道大会・バレーボール大会は継続の積み重ねで力をつけてきております。ただ、ここで各種のプログラムがマンネリ化に陥ってないか、検証することが必要な時に来ているかも知れません。

最後になりますが、年度初めに伊藤会員が退会され、その後、真岩会員が入会され、最後に田村会員と木村会員が退会されました。私の年度で会員を2名減らしてしまいましたことは、前会長として退会を止められなかったことに対して責任を感じ、会員の皆さまにお詫び申し上げます。なかなか決定できないでいた会長ノミニーが、時間が延び会長エレクトという形で坂口会員に快く次期会長を受けていただきました、このことは前年度、釧路西ロータリークラブ会長として何といっても嬉しいことでした。坂口副会長、ありがとうございます。色々飛び飛びのお話になってまとまりがなかったと思いますが、一年を振り返ってということで、お時間をいただきまして、ありがとうございます。

《例会運営委員会 大場委員長》

9月12日	在籍数 30名	出席免除者 6名	出席義務者 24名	「編集: 櫻田会員」
	名誉会員 1名	出席者 17名	欠席者 13名	出席率 56.7%

会報委員長: 金田 剛 副委員長: 中川 陽市
委員: 櫻田 美香 真岩 勝司 大場 恵治 小泉 和史